

4. 響きの世界に耳を開き聴きだす

講師：平井久仁子

Uncovering the voice では、まだ自分の声が鳴りだす前に響きの世界から鳴るであろう自分の声を聴きだすことを大切にしています。そのようにして耳を開いていくと、以前は何も鳴っていないと思っていた空間が実は響きで満ちていることに気が付きます。その響きを聴きだしてあげる練習を行います。すると自分の声にも変化が現れます。歌が苦手と思っている方もどなたでも参加して頂けます。

〈講師紹介〉フィンランドのラウルコウル(歌の学校)で Uncovering the voice を学ぶ。卒業後ドイツで歌唱療法のディプロマを修得。ゲーテアヌム精神自由大学公認歌唱療法士。東京都東久留米市アトリエ・カンテレ主宰。歌唱法の指導、医師と協力して歌唱療法を行っている。

5. バッハ 平均率クラヴィア曲集第1巻 プレリュード 1 番ハ長調を弾く

講師：吉良 創

ユリウス・クニーリムによる指遣いをベースにして、ライアーらしくこの曲を演奏するためのヒントをお伝えしながら、繰り返し弾いていきます。うまくできたら、グノーのアヴェマリアのメロディーも一緒に弾いてみましょう。ソプラノ、アルトどちらでも。演奏レベルも問いません。この曲を初めて弾く方も、よく弾かれる方も、どなたでもどうぞ。

〈講師紹介〉アンネマリー・ローリングにライアーを学ぶ。南沢シュタイナー子ども園理事。滝山しおん保育園園長。ライアー実践家。

◆ライアーオーケストラ

会報21号付録楽譜から以下の曲を演奏する予定です。

1 日目 「すべては移ろいゆくけれど」
「地球を巡る一日」「星のカノン」

2 日目 「ダ・パーチェム・ドミネ」「地球を巡る一日」「モテット」
その他 「タリスマン」「森は早くも色づいて」

☆弾くことができる曲だけ参加していただき、あとは演奏を聴くだけでも大丈夫です。

■ピッチは a=432hz で行ないます。

■持ち物 譜面台・会報付録楽譜21号

■宿泊について

ホテルは「東横 INN 西武池袋線東久留米駅西口」が便利です。
また池袋(または所沢)のホテルも便利です。

■連日参加の方は15日の講座までライアーを会場に置いて帰ることができます。

■ライアーのレンタル(1日 3000 円)をご希望の方はご相談ください。

■参加費について

2日間 10,000 円(1日のみは 6,000 円)

*できるだけ2日間ご参加ください。

*交通費が往復2万円以上の方には交通費援助を考えています。

*上記に該当しない方で、交通費その他で、ご事情のある方はご連絡ください。

■参加申し込みについて

・ライアー響会会員のための集まりです。

・参加費(10,000円または 6,000 円)を同封の振込用紙でお振込みください。口座間送金や電信振替もご利用ください。
(年会費 10000 円と合計で振り込み可能)

郵便振替口座 00180-8-570665

加入者名 ライアー響会

他金融機関から 〇ー九店 570665

*お申し込み後、1週間以内にお振込みください。

*振り込まれた参加費の返金はできませんのでご了承ください。

*入金の確認後、分科会の資料がある場合には 8 月 20 日以降に PDF でお送りします。

・今年から下記のQRコードまたはアドレスでのお申し込みになります。
大会の申込の他、会員継続等の手続きもこちらからお願いします。

■申し込み受付期間 7月7日～8月20日



申し込みフォーム

<https://forms.gle/HSQdtj5SMXRftbZZ8>

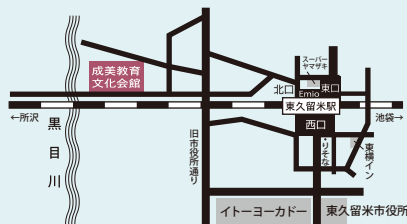
7月7日10時 申し込み開始

*申し込みフォームでのお申し込みが困難な方は響会までメールでお申し込みください。

*響会は8月9日から8月17日までお休みとなります。

■会場へのアクセス

西武池袋線東久留米駅北口下車徒歩5分
成美教育文化会館 東京都東久留米市東本町8-14



「ライアー 2025 東京」のお問い合わせ

E-Mail hibiki@leierkyokai.jp

Fax/Tel 043-463-2292 八幡



会員のための集まり No.21

ライアー 2025 東京

LEIER 2025 TOKYO

2025年9月13日(土)14日(日)

場所

成美教育文化会館(東京都東久留米市)

2025年はルドルフ・シュタイナー没 100年、来年はライアーとシュタイナー幼稚園の誕生100年です。100年続いてきたライアーは、ルドルフ・シュタイナーのアントロポゾフィー（人智学）やシュタイナー教育をはじめとする様々な人間の生活と関わる実践分野と深く繋がっています。

LEIER 2025 TOKYO PROGRAMME

ライアー 2025東京 プログラム

9月13日(土)

9:30～ 受付・調弦

10:00～10:05 はじまりの演奏

10:05～10:10 開会のあいさつ

10:10～10:25 みんなで歌

10:25～10:40 みんなでライアー

10:40～12:10 「小さな一歩が世界を変える
～国境を越えた体験が教えてくれた人間の可能性」
お話：関 倫尚

12:10～13:30 昼食 大研修室前にて、プチファールのパンの販売あり
★12:30～13:10 楽譜販売

13:30～15:10 分科会 (1)

15:20～15:50 会員交流の時間(各地方の会員同士のために)

16:00～17:30 ライアーオーケストラ I

9月13日(土) 18:30～20:00「第14回教師の会」

◆関 倫尚(みっちー Sun)
国立弘前大学教育学部卒業後、2001年エマーソンカレッジへ渡英。2004年英国グラスハウスアートカレッジにて、特性のある子たちと共に暮らしながらオイリュトミーディプロマ取得。
2009年帰国後、いずみの学校で活動。2011年ソーシャルアート・プロジェクトを夫婦で設立。現在ひびきの村で講師として活動中。

今年の大会では、シュタイナーの思想について、初めて聞く方にも、わかりやすく楽しく伝えてくださる関さんご夫婦を、北海道のひびきの村よりお招きします。会員の皆さまが、ライアーの背景でもあるシュタイナーについて興味を持つことや、ライアーを弾いている自分自身と出会うことなどにつながるヒント満載のお話をどうぞお楽しみに。

9月14日(日)

9:30～ 調弦

10:00～10:05 はじまりの演奏

10:05～10:20 みんなで歌

10:20～10:35 みんなでライアー

10:35～12:00 「人生の節目はリズムに乗って
～シュタイナーが解く7年周期の秘密」
お話：関 麻依子

12:00～13:20 昼食 大研修室前にて、プチファールのパンの販売あり
★12:20～13:00 楽譜販売

13:20～14:50 分科会 (2)

15:00～16:10 ライアーオーケストラ II
「ライアーオーケストラ II」の前に
「ライアーによるオイリュトミー」の
デモンストレーション」を行います。

16:15 閉会のあいさつ

◆関 麻依子
2001年～渡欧、2006年までエマーソンカレッジにて R.シュタイナー哲学、彫塑造形訓練、彫塑（1-12年生）& 高等部美術ヴァルドルフ教員養成コース等修了後、英国キャンピル勤務。2009年帰国、現在まで、ヴァルドルフ学校や大人のためのシュタイナーカレッジ講師や、ひびきの村運営理事、会社、幼稚園、コミュニティ等で、講座・講演 / 公演活動。

◆分科会

5つの分科会からひとつ選びます。2日間通してご参加となります。
※各分科会の会場の収容人数等により、お申し込みが多数になった場合は、先着順といたします。第3希望まで選択してください。

1. 現象研究Ⅱ～ライアーの質を探る～

講師：勝田恭子

- ・すべてのレベルの人
- ・ライアー演奏に欠かせないのは、音楽要素を深く捉えていくことです。今回は「音の上行と下行」をじっくりと聴いて、弾いて、感じたことを言葉にしてその質を探っていきましょう。大切なのは「自分の感覚」、そして共に取り組んでくれる「仲間」です。筆記用具をお持ちください。(定員 12 名)

〈講師紹介〉ゲーテアヌム精神科学自由大学医学部門認定アントロポゾフィー音楽療法士。(一社) アウディオペーデにてシュタイナーの音楽教育や音楽療法を学ぶ。現在、医療従事者と協働しながら様々な障がいや病気を抱える方々に関わりと共に、大学の研究協力も行っている。

2. ライアー演奏を運動芸術とするために

講師：田原眞樹子

- ・ライアーとオイリュトミー経験者を対象
- ・今回は、～ライアーオリジナル曲に流れる音楽の生命を共に～をテーマに、ライアーの演奏とオイリュトミーの動きを楽しみます。

〈講師紹介〉シュトゥットガルト オイリュトメウム卒業。九州を中心にオイリュトミーとライアーの講座をもつ。カスターア・音賀以の会主宰。福岡シュタイナー学園、鹿児島どんぐり自然学校、松原シュタイナー土曜学校オイリュトミー教師。

3. 空間を動くライアーの響きを体験する

講師：泉本信子

- ・初級・中級の人
- ・J. クニーリム作曲の「レ (D) の音をテーマにした作品」に初挑戦すると共に、彼が編曲したバッハも弾きます。また「動くことー聴くこと 聴くことー動くこと」(J. クニーリム著)を三野友子さんからご紹介、ご協力をいただきます。
1940 年代後半にクニーリムがライアーに取り組んでから、それまでのライアーの奏法とは全く違うアプローチがされました。彼が意図した“動くこと”と“聴くこと”とはどういうことかを考えてみたいと思います。(定員 23 名)

〈講師紹介〉スザンネ・ハインツ、W. フリーベらにライアーを学ぶ。ライアークラスをもつと共に「ライアー音楽コース」を主宰。ライアーデュオ、トリオ等の演奏も行う。(泉本)
ドイツ滞在中に長男の通っていたシュタイナー幼稚園でライアーに出会い、ドイツにてその奏法を学ぶ。アンネマリー・ローリング女史に師事する。(三野)